



クニマッスン  
出生地 忍野村  
山梨県水産技術センター  
口癖 でまっすん…



『今日は不動明王の話であったな。不動明王は「お不動さま」と呼ばれて親しまれているんじやが、そのお姿はとても厳めしく恐ろしく近づきがたい。なぜそのようなお姿をしているのかというと、ただ教えを説くだけでは聞き入れてくれない人に、怖い顔をして叱っておるんじやよ。』

『確かに怖い顔をしているでまっすん。けれども、おいらはお不動さまを好きでまっすん』

『クニマッスンには、不動明王の本当のお姿が見えているのかもしれない。怖い顔の裏には、人々を救いたいという慈悲深いお心が隠されているんじやよ。本当は怒りたくないが、人々が正しい道に

ふじのだいがこうざえもん  
富士大我講左衛門 年齢不詳  
職業 大我講の先達  
(先達とは案内責任者)

進むことができるように厳しいお顔をしているんじや。さて、クニマッスは、お不動さまの目の色が何色あるか知っているかのう。仏様を間近で見る機会は少ないと思うが、その特徴を知ると、お不動さまだけではなく様々な仏様を身近に感じることができると思うんじやよ。』

『お不動さまは、五色不動と言って五色あるでまっすん。中国の五行思想から生まれていて、白・黒・赤・青・黄でまっすん。有名なのは、東京にある目黒不動や目白不動でまっすん。目黒や目白が地名だと思っている人も多いけれど、不動明王が祀られたことで地名がついたと聞くでまっすん。目黒不動は目が黒く、目白不動は目が白いでまっすん。東円寺の富士山から下ろされたお不動さまは、目黄不動尊でまっすん。目赤不動尊もいらっしゃるので比較することができるでまっすん。』

『よく調べておるな。お不動さまは、亡くなった方が 7 日目に初めて会う仏様なんじやよ。初七日と言われるんじやが、生前犯した罪や、この世への名残の気持ちを速やかに改めさせて、修行の道に志すよう導いてくれるんじやよ。お姿は、立像と座像があるが、右手には縄を持ち、左手には鋭く長い剣を持っておられんじや。縄は、悪い心を捕まえるために、長い剣は、悪い心を倒すためのものじや。背後に燃えている炎は火炎と言うんじやが、悩みや苦しみや悪い心を焼き尽くすためにあるんじやよ。人の悩みや苦しきはなぜ生まれてくるんじやろうか？それは、人より豊かになりたいという欲の心が悩みを生み、心を苦しめているんじや。悩みから解放されることは簡単なんじや。他と比較しないことじや。しかし、実はとても難しいことだから、昔から人は、神や仏にすがったんじやろうな。』

『難しい話でまっすん。けれども、仏様のお姿や、そのお心を理解すると、見方がかわるでまっすん。次回は、どんな話をしてくれるでまっすん。』

『8 月はお盆だからな、お盆にまつわる話をしようかのう…』

※不動明王のご真言

ナマサマンダ バサラナン センダマカロシャナ ソワタヤウンタラタカンマン